



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
3-1	農産物生産振興事業	農業振興課 (北部農業事務所)

事業シート5

課コード: 001902000
 担当組織: 農業振興課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 根本 紀房

基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
計画コード	02	04	0113	01	011305	予算コード	26	01	15	30		

事業名: 農産物生産振興事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	1,908	1,983	75		1.9	1.8	△ 0.1
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
					1,850		133

◆事業の目的

全国有数の農業算出額を誇る「はままつ農業」の生産を維持・発展させていくために、果樹・花き・茶等、多様な農産物の生産振興を推進する。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- (1) 農産物振興団体への負担金交付 … 茶関係3団体 1,850千円
 - ① 浜松市献上茶謹製事業実行委員会 1,000千円 … 平成22・23年度の2ヶ年事業
 - 【目的】: 伝統ある茶づくりの継承と浜松市の基幹作物であるお茶並びに産地の持つ魅力をPRすることにより、本市茶業の振興を図る。
 - ※ 献上茶謹製事業: (社)静岡県茶手揉保存会の事業として実施され、平成23年度には浜松の手揉み新茶を皇室に献上
 - 【内容】: 謹製茶摘式、手揉式、記念式典、記念イベント の実施 … 4/13、4/14
 謹製茶の送達(献上)、県知事報告 … 5/30、6/15
 指定茶園園主の地元小・中学校でのお茶講座 … 6月以降 など
 - ② 浜松市茶振興協議会 500千円
 - 【目的】: 市内の茶業関係団体が連携し、浜松市の茶業振興を図る。
 - 【内容】: 茶のPR … 八十八夜の茶会(5/2)、新茶PRイベント(5/18～5/24)
 浜松市茶品評会の開催 … 6/3
 茶振興活動支援、6次産業化や地産地消推進のための調査研究
 - ③ 世界緑茶協会 350千円
 - 【目的】: 国内外に緑茶の魅力を発信することにより茶業の振興に資する。
 - 【内容】: 茶文化の創造・普及と緑茶に関する最新情報の発信
- (2) 農産物振興団体の事務局としての各種振興事務(上記、①、②)… 事務局: 北部農業事務所)
- (3) 各種農産物振興、補助事業関係への支援事務
 - 【内容】: 平成23年度から実施 (国)果樹・茶経営安定緊急対策事業の支援事務 など

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- (1) 農産物振興団体への負担金交付 … 茶関係4団体 1,850千円
 - ① 浜松市献上茶謹製事業実行委員会 1,000千円
 - 【内容】: 設立(H22.8.27)、指定茶園(3園)の管理、式典準備、宣伝PR
 - ② 浜松新茶まつり会 250千円
 - 【内容】: 茶会(5/2)、新茶PR(5/3～5/5)、消費宣伝活動(パンフレット作成、体験活動等助成)
 - ③ 浜松市茶品評会実行委員会 250千円
 - 【内容】: 品評会審査会の開催(6/4)、表彰式・PRイベント開催(11/4)、PR宣伝活動(品評会1～3等受賞茶葉を活用)
 - ④ 世界緑茶協会 350千円
 - 【内容】: “世界お茶まつり2010”の開催(H22.10/28～10/31) … 浜松市2ブース出展
- (2) 茶関係団体の事務局事務 … 3団体(上記、①、②、③)… 事務局: 北部農業事務所)
- (3) 各種農産物振興、補助事業関係への支援事務
 - 【内容】: 平成23年度から実施 果樹・茶経営安定緊急対策事業の事前事務

◎結果 : 浜松市は、山間地から平地まで煎茶を中心に特色ある多彩なお茶がつけられている。産地銘柄となっている「天竜茶」、「春野の茶」、「浜松茶」の市民等への周知やPR、生産者の技術改善と品質向上に寄与したが、継続して推進して行く必要がある。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等						
昭和 *53 年	年	自治事務							
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働	
一般会計									
行革審答申		外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
		*H20は事業仕分け							

(単位:千円)

		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	1,908	1,983	983	983	983	4,932
	決算	1,891					0
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	1,891	1,983	983	983	983	4,932
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		15,200	14,400	14,400	14,400	14,400	57,600
内訳	人工(正規)	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		17,091	16,383	15,383	15,383	15,383	62,532

成果指標1 協議会の事業計画に対する予算執行率							
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	100	100	100	100	100
	実績	%	100				

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

農産物振興団体へ負担金を交付し、その活動を支援して行くことで、浜松市の主要な農産物である茶の振興が図られた。

- ・生産技術の改善と品質向上
 - … 平成22年度静岡県茶品評会 1等1席(農林水産大臣賞)、優秀産地賞(天竜茶)受賞のほか各生産者の品質の良いお茶づくりに繋がっている。
- ・浜松市の茶PR活動
 - … ①浜松市のお茶パンフレット「浜松市プレミアムブランド お茶シンフォニー」を作成し、イベント等で配布、周知を図る。
 - ②市内茶関係団体等と連携しながら、茶会、イベント等で浜松市のお茶を小学生から一般市民等にPRした。

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

各種協議会に負担金を支出することで、市独自では対応できない他団体との連携、情報収集が図られる。

(2) 実施主体: 市

(理由)

各種協議会に負担金を支出する立場から、市が実施主体となる。
市が中心となって設立した協議会の事務局については、関係団体の取りまとめが必要なため市が行うほうが効率的である。

(3) 選択と集中 現状

(理由)

団体への負担金は、相手側との調整が必要で市から一方的に予算を見直す事はできない。

(4) 改善: 改善なし

(理由)

各負担金については、関係団体の調整が必要であり市独自で事業を進めるより効率的であるため、現状のままとする。

今後の方向性 現状

各負担金については、必要に応じ関係団体との調整を行う。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

- ・新茶のPRを通じて、浜松市のお茶の消費拡大と良質茶の生産振興を図るため、「八十八夜の茶会」や「新茶接待所」を開設し新茶の試飲と販売を通じて浜松のお茶を宣伝し、消費拡大を図ってきた。
- ・市内で生産される茶の特質を明らかにするとともに、市内の茶農家による消費者に好まれる茶づくりの技術向上を図るため、「茶品評会」を実施してきた。
- ・平成23年度より「新茶まつり会」と「茶品評会」を統合し「浜松市茶振興協議会」を設立、浜松市の茶業関係団体が有機的に連携し、構成員の連絡調整を行うとともに、茶業政策の形成を推進する。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

浜松市の農業振興に関しては、市及び農協、農業関係団体、農業委員会等が組織する「浜松市農業振興協議会」があり、農業振興部、果樹振興部、畜産振興部の専門部をおき活動している。

浜松市茶振興協議会については、現在は活動時期(茶は主に4~5月)の関係で別々となっているが、今後、「浜松市農業振興協議会」の専門部として一元化を図るか検討して行く。

論点シート

事業番号	3 - 1	事業名	農産物生産振興事業
部局	農林水産部	所管課	農業振興課（北部農業事務所）
H23 予算	1,983 千円	所管課	現状
H22 予算	1,908 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業は農産物の生産振興という目的の達成手段として茶関係 4 団体に対する負担金は効果的・効率的か ・ 負担金は何に使われているか、効果や実績に対して負担金は妥当な額か、金額の見直しは行われているか ・ 農産物振興団体の事務局は市が行なうべきか ・ 行政以外の団体はどこか、また、それらの負担金はいくらか ・ 協議会への負担金というスキームしかないのか ・ 茶農業に対してのみ手厚い事業で、かえって農家の自主性を奪っていないか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 負担金及び事務局など市と団体の役割について見直しをすべき 			

浜松市茶振興協議会

農林水産部 北部農業事務所

1 目的

農林水産業に関する団体の活動は、新たな担い手の創出、特産物のブランド化など農林水産業の振興を図る上で重要な役割を担っている。

現在の団体活動に関しては、生産技術の改善と品質の向上を推進する「浜松市茶品評会実行委員会」と浜松茶の紹介・宣伝と販路の拡大を図る「浜松新茶まつり会」により振興を図ってきたが、浜松市の更なる茶業の振興を図るために、これまでの会員に加え生産者団体等の参画を得て「浜松市茶振興協議会」を設立する。

このことにより茶業関係団体が有機的に連携し、地域イメージ向上や活性化につながるブランドの確立など、市の茶業政策の形成に寄与していく。

2 事業概要

(1) 組織名

・浜松市茶振興協議会 ※設立総会 4月6日（水）

※ 旧組織名 ①浜松市茶品評会実行委員会(H22 事業費 775 千円、市負担金 250 千円)

②浜松新茶まつり会 (H22 事業費 611 千円、市負担金 250 千円)

(2) 構成団体

- ・浜松市
- ・とぴあ浜松農業協同組合、遠州中央農業協同組合、浜松茶農業協同組合
- ・天竜茶振興協会、春野茶振興協議会、浜松茶商組合、天竜茶商組合
- ・浜松茶手揉保存会、天竜茶研究会

※〔顧問〕静岡県（西部農林）、静岡県経済農業協同組合連合会

(3) 事業内容

- ・関係団体の連携 …… 総会、連絡会等の開催
- ・技術及び品質向上 …… 浜松市茶品評会の実施
- ・紹介・宣伝PR …… 茶会及び新茶PR等の実施
- ・茶振興活動支援 …… 関係団体活動への支援
- ・調査研究事業 …… ブランド化、6次産業化、地産地消などの調査研究

3 予算内訳（年額）

区分	団体名	金額
市	浜松市	500,000円
農業協同組合	とぴあ浜松農業協同組合	200,000円
	遠州中央農業協同組合	200,000円
	浜松茶農業協同組合	100,000円
茶業関係団体	天竜茶振興協会ほか5団体	60,000円
合計		1,060,000円

浜松市献上茶謹製事業

1 目的

浜松市制100周年を迎えるにあたり、伝統ある茶づくりを継承することの意義を市民に再認識してもらうとともに、浜松市の基幹作物であるお茶並びに産地の持つ魅力をシティプロモーションの一環として、広く市内外に伝え、浜松の茶産地の認知及び販路拡大により本市茶業の振興を図ることを目的としている。

2 事業内容

【内容】 献上茶謹製事業：浜松の手揉み新茶を皇室に献上

※ (社)静岡県茶手揉保存会の事業として実施されている献上茶謹製事業において、浜松茶（浜松の手揉み新茶）が献上茶として選定され実施

【実施主体】

浜松市献上茶謹製事業実行委員会 会長 長谷壽一（浜松茶手揉保存会会長）

【組織】

浜松市、とぴあ浜松農業協同組合、浜松茶農業協同組合、
遠州中央農業協同組合、浜松茶手揉保存会、周智茶手揉保存会、
天竜茶振興協会、春野茶振興協議会、浜松茶商組合、天竜茶商組合

【実行委員会 予算額】

(千円)

団体・年度	22年度	23年度	合計
浜松市負担金	1,000	1,000	2,000
静岡県茶手揉保存会補助金		1,200	1,200
農協等負担金		700	700
合計	1,000	2,900	3,900

【スケジュール】

平成22年8月27日（金） 実行委員会発足（市、農協、他）
平成23年4月13日（水） 謹製茶摘み式
平成23年4月14日（木） 謹製手揉み式・謹製記念式典
平成23年5月30日（月） 謹製茶の皇室献上（送達）

【その他】

- ・ 献上茶謹製事業は戦前より静岡県と埼玉県の2県で実施、(社)静岡県茶手揉保存会が、関係機関・団体の協力を得ながら毎年実施している。
- ・ 昭和40年に春野町、昭和55年に天竜市で実施したことがある。
- ・ 浜松市における献上茶謹製事業は、平成16年4月の浜松茶手揉保存会よりの申し入れにより検討、市制100周年記念イベントに合わせ実施となった。
- ・ 実行委員会事務局：浜松市農林水産部北部農業事務所